

第6回地域課題解決の仕組みづくり会議議事録

日 時：平成28年11月30日（水）15時30分～17時

場 所：ウィザスあしや セミナー室

出席者：朝倉己作（（特活）芦屋市手をつなぐ育成会）宇佐見裕子（精道小学校 smile ねっと）金木友子（精中応援隊）小泉星児（芦屋市商工会青年部）三芳学（（社福）芦屋市社会福祉協議会）辻本久夫（こくさいひろば芦屋）長城紀道（芦屋法律事務所）奈良（（特活）あしやNPOセンター）
芦屋市企画部市民参画課 山田課長 谷野係長
芦屋市教育委員会生涯学習課 長岡課長
芦屋市立あしや市民活動センターリードあしや 橋野

1 笑顔ネットと777プロジェクトの役割の再確認

- ・笑顔ネットの立ち位置はいずれのプロジェクトの実施主体ではなく、地域課題解決のためのアドバイザーである。
- ・現在は、地域から課題を吸い上げる仕組みができていない。その一つの原因は、地域ひろばが継続していないこと、団体同士の繋がりができるようなものがないこと、情報を上げる団体がいないということがある。
- ・777プロジェクトは、ワーキンググループで進めることで、団体同士が意識され、つながる等期待があり、笑顔ネットを介して繋がりが持てたという意識づくりができると考えている。
- ・777プロジェクトの実施主体が笑顔ネットの中で動いているため、困惑している元であるが、仕組みをつくる前段階として経過を見守り、応援をしていく。
- ・777プロジェクトは、実行委員会形式で進め、笑顔ネットは適宜報告を受け、助言していく。

2 円谷プロダクションとの打ち合わせの報告

- ・実施が難しいもの
プロジェクトマッピング（金銭的に難しい）
ウルトラセブン通り、住民票の透かしにウルトラマンを1年間利用、市長室訪問、市議会との兼ね合い（まちおこし関係は不可）
子どもの見守り隊（モデルチェンジもしくはなくす傾向）
ポスター（著作権等）
- ・実施可能なもの
市政77周年として行うイベント
着ぐるみが街を歩く（ウルトラヒーロー 怪獣 中に入る人も込み）
上映会スタンプラリー（円谷プロのイチオシは謎解きラリー）
ペットボトル、子どもたちが絵を描く。（案を事前提示すること）

3 777プロジェクトの今後について

実施主体に関して

主体：商工会青年部（参加店の紹介、一般の人が購入するきっかけ等の動向調査、経済効果を得られる。）

予算：商工会兵庫県まちづくり補助金 300 万円 9 割補助を申請予定
（ほかの商工会関連の助成金と重複していないか確認）

決定事項

- ・芦屋市の協力としては、後援名義、市への具体的な説明は市民参画課を通す。
- ・既存のもの（団体）にプラスしていく。
- ・実行委員会開催等のスケジュールを決める。
- ・プレゼンテーション資料を改訂する。
あしや子ども笑顔ネットの説明文は省く。
777プロジェクト実行委員会の名称を入れる。
1年の流れと、予算を入れる。
団体がつながる波及効果を入れ込む。住民数字を入れ込む。

意見交換

- ・プロジェクトの目的のひとつは自ら地域課題を解決する人材が育つことである。
- ・精道小学校「コミスク夏祭り」夕方 5 時～8 時とジョイントする。
→コミスク連絡協議会に伝える。こくさいひろば芦屋 多国籍料理の販売
- ・小学校の利用条件は、営利目的でないこと、教育委員会管理課の許可があることであるが、社会教育団体外であるので、学校設置管理条例からいうと目的外使用（有料）となる。
- ・JCに参加を求めてはいかがか。ペットボトルでウルトラマン制作は得意そうだ。
- ・体育協会が行う青空上映会とジョイントする。
- ・協力団体への限定スタッフTシャツ、バッチはOK、販売してもよい。
- ・寄附文化を広めるための仕掛けを考える。
- ・社会教育団体研修会で紹介する。

4 その他

- ・笑顔ネットの課題としては、地域の課題を吸い上げる仕組みを考える。
- ・まちづくり懇談会、集会所トークであがったものは、行政の所管で行っている。同様に、自治会からの要望、課題は上がってくるが、行政で行うものが多い。お困りです課にあがったものも各所管に回される。自治会、地域の活性化を話し合ったが、自分の課題を言わず、加入率、人材育成等の組織そのものについての課題のみである。潜在化している課題はテーブルにのってこない。
- ・地域ひろばについては、地元の方から同じような会議をやっていると指摘がある。小地域ブロック会議（福祉）と被る。扱うテーマが違うが、参加する方が被るま

- ちづくりの会議になっている。子どもの問題が出てこず、高齢者関係が多い。
- ・行政はお金の手立てと環境整備を行うことが理想的であるが、芦屋市はお金を出すということができていない。
 - ・団体の活性化には一定の資金が必要、行政がバックアップすることが必要と考える。
 - ・生涯学習課の課題としては、今後、社会教育団体へは補助金を行う。子どもの家庭教育支援が弱い。子ども課、福祉課も取り組んでいるが、目的は同じだが切り口はそれぞれ違っている。市民ボランティアも含め、協力できないかと考える。
 - ・行政からも福祉、子ども、経済部局が出て来て横のつながりでやるのがよい。
 - ・創生グループは、少子高齢の社会に歯止めをかけ、芦屋市を活性化し魅力発見していくこと。
 - ・自治会ではない、多種多様な団体が集まり話し合う場を通じ、行政の横の繋がりもできるのではないか。
 - ・子ども食堂又はカフェに関する企画案については、次回会議で取り上げたい。

5. 次回の会議

- ・日時：12月17日（土）16:00-17:30
- ・会場：市役所本庁舎2会議室（地下通用口から入ること）
- ・議題：777プロジェクトプレゼンテーション資料決定
子ども食堂・カフェ企画について
- ・会議までに行うこと：
 - プレゼンテーション資料の改定（橋野）
 - 体育協会への打診（橋野）
 - メイン会場として精道小学校への打診（宇佐見）
 - 助成金の確認（小泉）

以上